

まちづくりアンケート（基礎調査）結果

1、基礎調査の集計

新市建設計画の策定に先立ち、住民の意向を反映することを目的に、両町村に住所を有する満16歳以上の住民3,000人を対象としたまちづくりアンケート調査を実施しました。集計の概要は次のとおりです。

（1）現状に対する満足度

現状で「満足」という回答が一番高かったのは「上水道や下水道の整備状況について」の17.0%、「不満」という回答が一番高かったのは「バスや鉄道などの利便性について」の25.8%となりました。

（2）エリア内の好きな風景・自慢できるもの

美しい風景や景色（具体的な場所など）

結果、1,039人（回答者の59.4%）の方からご記入いただき、複数の記載を含め1,432の回答を分類しました。

中条町の方からも多くの支持を集めた「奥胎内」が207人（14.46%）で一番高く、次いで、「日本海（夕日）・海岸・松林」184人（12.85%）、「櫛形山脈（からの景色）」105人（7.33%）の順となっており、自然豊かな地域柄、山や海、川などのポイントが高くなっているといえます。

自慢できるもの（特産品やまつり、イベント、歴史、伝統、施設など）

この設問については、937人（回答者の53.6%）の方からご記入いただき、複数の記載を含め1,335の回答を26項目に分類しました。

結果は「チューリップフェスティバル」163人（12.21%）が一番高く、次いで、「乙宝寺（三重塔）」115人（8.61%）、「中条祭り（山車、花火）」111人（8.31%）の順で、観光スポット、観光イベントが上位を占めています。

（3）期待する施策

「まちづくりを考えた場合、期待すること（施策）は何ですか」の問いには、「雇

用対策の充実」を望む声が一番高く7.20%で、次いで、「医療施設・救急体制の充実」6.36%、「自然の保護」6.29%の順となっています。

(4) まちのイメージ

「どんなまちにしたいか」の問いには、「自然の豊かなまち」が17.78%で一番高く、次いで「安全で平和に暮らせるまち」15.58%、「福祉充実のまち」12.19%の順となっています。

(5) その他の意見・要望

アンケートの最後に自由記載欄を設けて、合併やまちづくりに関して、ご意見・ご要望を書いてもらいました。834人(回答者の47.7%)と多くの方々から意見・要望をいただき、複数回答を含め1,050回答を33項目に分類しました。

一番多くいただいた意見・要望としては、「行政サービスの向上、職員・議員の削減等による行政改革の推進」99人(9.43%)、次いで、「幹線道路・生活道路・街灯・除雪・消雪パイプ等道路関連の整備」79人(7.52%)、「合併賛成・合併の推進・合併の期待」60人(5.71%)の順となっています。

2、結果分析

両地域は自然環境に恵まれています。アンケートの結果により住民の皆さんもそれを意識し、守り育てたいということが見て取れる結果となりました。特に山や川、海などの自然を活かし、新市のイメージとしての位置付けを望む声も多いことから、これを核としたまちづくりを考えていかなければなりません。

雇用対策については、雇用機会を拡大する必要があることから、産業の振興と密接な関係にあるといえます。

自由記載欄では、行政サービスの向上や行政改革を望む声も多く、今回の合併議論が求める方向性と同じであることから、新市建設計画でも位置付けを明確にしていきます。